

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	評価実習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	240 (6) 時間(単位)
対 象 学 年	3年		学期及び曜時限	前期	教室名	実習施設
担 当 教 員	学科教員	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
診療録等からの間接的情報収集や対象者への直接的情報収集(検査・測定等)を通じて、対象者の状態等に関する評価を実施する。実習生が診療チームの一員として加わり、臨床実習指導者の指導・監督の下で行う診療参加型臨床実習が望ましく、様々な疾患・状態の対象者に対して基本的な検査・測定等を適切に実施することを学ぶ。さらに、得られた情報から障害像を考え、課題解決に向けた仮説を立てる過程を学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
総括的評価とし、①出席状況、②臨床実習中の状況、③ソーシャルスキル(ルーブリック評価)④チェックリスト ⑤実習後の提出課題内容、⑥実習後の報告会の内容を総合的に評価する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
出雲医療看護専門学校 理学療法士学科 実習要項						
《授業外における学習方法》						
実習施設の実習時間は1単位を40時間(240時間)とする。ただし、家庭で行う自己学習を行う場合は、この限りではない。 自己学習は、これまでに学んだ基礎医学、臨床医学、専門知識、検査技術とする。						
《履修に当たっての留意点》						
・臨床実習指導者は、5年以上実務に従事し、かつ臨床実習指導者養成講習会を修了した者が担う ・臨床実習20単位のうち14単位以上は病院または診療所、介護老人保健施設で行うこと。その内、7単位以上は病院または診療所となる。また、訪問リハビリテーションまたは通所リハビリテーションでの実習は臨床実習20単位の内1単位以上を行うこと。						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
臨床 実習	実習 形式	授業を 通じての 到達目標	見学実習・検査測定実習の到達目標に加え以下の項目を到達度とする ・指導者の指導・助言のもと、対象者が抱える課題を抽出し、その抽出理由について説明できる。		実習要項	実習での経験を振り返り 自宅で必要な準備や自己研鑽の学習を行う。
		各コマに おける 授業予定	評価実習(240時間:8時間×5日間×6週間)			